

第 69 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和 6 年 10 月 15 日（火）10 時 00 分から 11 時 55 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1、第 2 会議室

3 出席者

（委 員）

原会長※、野村副会長、大久保委員※、川瀬委員、小島委員、柴田委員、越村委員
早川委員、林委員、松本委員※

（大阪市）

堀井環境局長、井原環境局理事兼エネルギー政策室長※、岡本事業部長、
上原家庭ごみ減量課長、吉村事業管理課長、東岡一般廃棄物指導課長、川戸企画課長、
山下環境施策課長、小玉家庭ごみ減量課長代理（司会）

（大阪広域環境施設組合）

松井事務局長、中村施設部長

※ウェブ会議方式による参加（4 名）

4 議 題

- ・会長等の選出について
- ・新たな「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の策定について（諮問）

5 議事要旨

- （1） 委員の互選により、原委員が会長に、野村委員が副会長に選出された。
- （2） 大阪市から審議会へ、新たな「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の策定について、諮問した。
- （3） 大阪市から資料に基づき、新たな「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の策定に係り、計画策定に向けた課題とその方向性（案）等について説明を行った。
- （4） 委員からの意見等概要
 - ア ごみ減量施策で、どのくらいの効果があったのか、その後リバウンドの傾向があったのかなど、整理・分析を行うことが今後にとって非常に有効である。
 - イ 事業系ごみ（中小規模事業所）における食品ロスの大変な減少がみられており、その要因を分析し、ほかのものにも準用することで、より減量も進むのではないかと。
 - ウ 市内での大型集客施設の開業による事業系ごみの増加は容易に想像できる。それぞれで事業系ごみがどのくらい増えるか、ある程度予測しておいたほうが良い。
 - エ 万博は大阪の取組を世界に発信する大きなチャンスであり、大阪の先進性をアピールできるような取組を組み込んでいく必要がある。
 - オ 大阪の特徴である第二次産業を活用し、動静脈連携を着実に推進していくことが大事である。

6 会議資料

第 69 回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料